

PCの公開情報

PC ①

学生

君は一人暮らしをしている学生だ。PC ②に協力を依頼されて今回の事件を調べている。
幼少期の家庭に問題があり、やや荒んだ過去を持つ。

〈指定〉学派：フラスコ・エスコーラ

PC ②

H.E.A. の局員

君は今回の錬金術師殺害事件の調査を任された局員だ。PC ①とは歳の離れた友人のようなもので、PC ①に調査協力を依頼した。
年齢的には中年と言われる歳。

〈指定〉学派：アイザック技研

PC ③

雇われの錬金術師

君はある者から頼まれて探し物をしているフリーランスの錬金術師だ。
金さえ用意すれば何でもやる錬金術師だという噂がある。

〈指定〉学派：リペリオンズ・ギルド

PC ④

旅人

君はバックパック 1 つで様々な場所を訪れ、色々なものを見る旅人だ。
行く先々で日雇いのバイトをしながら気の向くまま生きている。

〈指定〉学派：ルーツレス

ドラマポイント

No.1

鹿島康嗣の書斎

トリガー PC ①が参加すること

まずは現場から調査を行うべきだろうか？

No.2

逃亡した犯人の捜索

トリガー 必ず 1 人以上のゲスト PC を参加させる

危険因子の犯人の行方から捜査すべきだろうか？

No.3

波止野の研究室

トリガー —

機密保持から調査の協力を断られてしまった。
消極的な理由があるのだろうか？

No.4

突然の交通事故

トリガー —

何かが激しく衝突する音。すぐ先での事故だ。
見過ごすわけにはいかない。

PCの非公開情報

PC ① / 情報深度：1

君は亡くなった鹿島康嗣の子供で、母親は幼少期に病気で亡くしており、父と姉だけが家族だった。

だが5年前に姉の鹿島芹が亡くなった後、研究に没頭する父は、君のことを完全にいないものとして扱い、研究の邪魔をすれば酷い暴力すら振るうようになってしまった。

君の家の惨状を見かねた親戚に引き取られ、養子として暮らしてきた。

そんな父親に対して恨みを抱いており、殺してやりたいと思うほどだった。

だが、父親は知らない誰かに殺されてしまった。

だから君は犯人を見つけ、自身の復讐を奪ったことへの仕返しをしなければならないと思っている。

君の目的は「父親を殺した相手を見つけること」だ。

PC ① / 情報深度：2

まだ両親と姉の鹿島芹がいた頃、今は閉鎖されてしまった小さな遊園地に遊びに行った。

その頃の父親は君のことを無視もせず、ましてや殴ったりなんてしなかった。

君と一緒にメリーゴーランドに乗ってくれた父親。手製の弁当に君の好物を入れてくれた母親。お化け屋敷で泣いてしまった君を慰めてくれた姉。

とても暖かくて懐かしい記憶。

なのに辛い出来事が多すぎて、この思い出は君の心の奥底に沈んで思い出せなくなってしまった。

思い出したくても心の底で蓋がされて思い出せない。

もし同じ光景を見られたら、もしかしたら幸せだった頃の記憶を思い出せるかもしれない。

君の心に秘めた願いは「幸せだった頃の家族の思い出を取り戻すこと」だ。

PC ② / 情報深度：1

君は事件現場に派遣される前、H.E.A. の上司から鹿島康嗣殺害事件の解決よりも、紛失した術師の器具の確保を優先するように指示を受けている。

また、すでに鹿島康嗣が所属していたアイザック技研とH.E.A. の上層部の間では取引が行われており、技研の錬金術師である波止野玖依から情報提供を受けている。

上司いわく「紛失した術師の器具【ブローケン・レコード】の技術は使い方次第で多くの破壊と殺戮を生みかねないので、万が一にも過激派や危険な組織に渡してはならない」と。

君の目的は「【ブローケン・レコード】を確保または破壊する」ことである。

PC ② / 情報深度：2

鹿島康嗣と君は幼馴染であった。

彼が結婚してからは疎遠になってしまったが、仲の良い友人だったことは確かだ。

学生時代には、鹿島康嗣やその妻であった女性と一緒によく色々な場所に遊びに行ったが、その中でもオープンしたての遊園地に行った時のことを強く覚えている。

鹿島康嗣が、後に妻となる女性に告白し、恋人となった場所。君の恋が誰にも知られないまま終わり、後悔した場所でもある。

それから大人になった君は、何もせずに後悔することだけはしないように生きてきた。

今回の事件に君が関わることで何ができるのかはわからない。だがやれることをやらずに、遊園地の時のように後悔はしたくない。

「後悔しないように決断すること」。それが君の行動指針だ。

PCの非公開情報

PC ③ / 情報深度 : 1

実は君は金を出されて頼まれると断りづらくなり、怪しい依頼でも引き受けてしまう小心者だ。

生前の鹿島康嗣にも大金を積まれて依頼され、彼の作った術師の器具【ブローケン・レコード】を探している。

鹿島からは「もし自身が死んだ場合は【ブローケン・レコード】を探して破壊してほしい」と頼まれていた。

鹿島が何を考えてそんな依頼をしたのか君にはわからないが、すでに前金で報酬を全額受け取っている以上、依頼をこなさなくては何か悪いことが起きるのではないかと心配で夜も眠れない。

君の目的は【ブローケン・レコード】を破壊することだ。

PC ③ / 情報深度 : 2

君は5年ほど前、金を積まれてテロの片棒を担ぐような仕事をした。直接誰かを手にかけてたわけではないが、結果として小さな遊園地で起きた事件は多くの死人を出し、遊園地は現在閉鎖されている。

以降、君は寝覚めの悪くなるような仕事だけはしないと決めた。だがそれから時間が経ち、君は当時のテロで亡くなった人間の中に鹿島康嗣の娘がいたことを知った。

鹿島康嗣が君に依頼をしたのは本当に偶然だったのだろうか。もしかしたら鹿島康嗣は自分に恨みを持ち、復讐をする為にこんな不可解な依頼をしたのかもしれないと考えた小心者の君は不安で内心は震えっぱなしだ。

何としても鹿島康嗣の真意を確かめねば、まともに寝ることすらできない。

君の目標は「鹿島康嗣の真意を確かめた上で、【ブローケン・レコード】を破壊する」ことだ。

PC ④ / 情報深度 : 1

何の関係もない一般遭遇錬金術師。

君は5年ほど前、とある小さな遊園地でテロが起きた時、苦しむ一般人を錬金術で助けようとしたところ、仲間の錬金術師たちから「錬金術師じゃないやつらを助けて何になる」と邪魔をされ、助けられるはずだった人たちは死んでしまった。

ただ困っている人を見かけたら助け、泣いている人がいれば笑顔にしたい。

そんなありふれたことができないのが嫌で君は錬金術師の組織から離れて旅人をやっている。

本当に助けたい人がいた時、組織によるしがらみのせいで前に踏み出せなければきっと後悔するから。

ああ、そこにも悲しそうに泣いている女の人がいる。どうしたら助けられるだろう。

君の目的は「困っている相手を助けること」だ。

PC ④ / 情報深度 : 2

1週間ほど前に金欠で何も食べられてない状態で住宅街を彷徨っていた時、あまりにも死にそうな顔をしていた君を見かねた小さな少女が、自分のお菓子とジュースを分けてくれた。君は錬金術師なので多少の飢えで死ぬなんてことはなかったが、そのありふれた優しさは身体よりも君の心を潤した。

それから数日後、君は偶然助けてくれた少女が、ある家の庭にいるのを見かけた。声をかけようと思った瞬間、少女は父親らしき男性に呼ばれて家の中に入ってしまった。

父親に不審に思われてもよくないと考えた君は、翌日お礼を言うために身なりを整えてその家に向かった。

そこには人だかりができていて、野次馬たちから、少女の父親らしき人物が錬金術師であることと殺害されたことを聞く。

少女はその場におらず、きっとどこかで困っているに違いないと考えた君は、少女を探して助け、あの時のお礼を言おうと決めた。

君の一番の目的は「あの時の少女を助けてお礼を言うこと」だ。

No.1 鹿島康嗣の書斎／鹿島康嗣の手記

某月某日：遂に目標としていた仮想生命体が完成した。過去に起きた現象を再現する機能を持った器具【ブロークン・レコード】を、保管していた芹の脳に取り付け、人型錬造器官と接続することで生前に脳が発していた生体電流を発生させることができた。これによって娘の……生前の芹を基にした疑似人格で錬造器官をまるで生きているかのように動かすことができる。私1人ではここまで辿り着くことは難しかったかもしれない。彼女には感謝してもきれない。だが生きていた頃のあの子が蘇ったのだ。これであの幸せだった頃に戻れる。やっとな戻れる。戻れるのだ。

某月某日：完成した仮想生命体は私の記憶している娘の芹そのものといえる人格を備えた存在として稼働している。だが……何かが違う。私の記憶の中にある芹と目の前で芹のように振る舞う仮想生命体は、まったく同じに見えて何かが違う……気がする。研究者として恥じるべき思考だが、明確な根拠もなく私はそう判断していた。ゆえに私はこの仮想生命体を芹と呼ぶことはせず、芹の名前を逆に読んで「リセ」という名で呼ぶことにした。

某月某日：【ブロークン・レコード】は本来これほど長時間の稼働を想定して設計していなかった。すでに1週間以上連続でリセを動かす疑似人格を出し続けることで不具合が発生している。具体的には現象再現機能の暴発だ。リセの近くにいる人間は時折、自身の記憶がフラッシュバックし、その記憶が周囲にいる人間にも少なからず伝わってしまう。この不具合はリセの疑似人格が不安定な状態にあると発生しやすいようだ。

【以下ディレクターPC（+演出手助けPC）のみ閲覧可能】

これを読んでいる者は私と同じ錬金術師だろう。万が一、私が不慮の事故で死んだ時のことを考え、錬金術師だけに読める形で手記と遺書を遺す。

まず、悪意ある者の手で【ブロークン・レコード】が利用されることがないよう、私が死んだ時に【ブロークン・レコード】を破壊するようフリーランスの錬金術師に依頼をしておいた。金さえ払えば確実に依頼を遂行する人間という評判があり、ある意味では信頼できる相手だろう。ここまでは技術を生み出した人間としての責任だ。

そして、ここから1人の人間としての後悔とわがままだ。私には2人の子供がいた。1人は何年も前に事故で死んだ娘の芹、もう1人はPC①という「息子／娘」だ。芹を蘇えらせる研究に没頭した私は唯一の家族であるはずのPC①をないがしろにしてしまった。あれだけの酷い仕打ちをしておいて、私は研究が終わるまで生きている自分の子供のことを忘れていたことに気が付けなかった。

今になって私は自分の行ったことの愚かさや押し潰されそうになっている。きっとPC①は私のことを恨んでいるだろう。私はそれだけのことをしたのだから当然だ。しかし、まだ生きているPC①にはこれからを幸せに生きてほしい。

もしこれを読んでいる君が私を愚かだと思ふのなら、PC①に伝えてほしい。「家族の想い出の場所、あの遊園地でリセを見つけられ。そして君の人生に幸せがあることを祈ってる」と。

No.2 逃亡した犯人の捜索／捉えきれぬ影

街の路地裏で見つけた犯人は子供くらいの小柄な姿をして、全身に黒い露を纏っています。

まるで獣を思わせるような俊敏さで移動する犯人の顔は黒い露も合わさって判別が難しいでしょう。

PCたちは犯人を袋小路に追い詰め確保しようとしたのですが、近づいた瞬間PCの脳裏には過去の記憶が強制的にフラッシュバックし、数秒の間呆然としてしまいます。その際に犯人は路地裏から姿を消してしまいました。

また、犯人のいた場所には錬造器官に使われる血液のような液体が小さな水たまりとなって残されています。

【以下ディレクターPC（+演出手助けPC）のみ閲覧可能】

PCたちは自身の記憶がフラッシュバックした後、自分のものではない記憶らしきものが一瞬見えました。

それは闇夜を明るく照らすイルミネーションと楽しい音楽、そして大好きな家族という記憶。幼い少女が家族と手を繋いで遊園地で笑っている温かみのある記憶です。

その記憶の中にいた父親らしき男性は、鹿島康嗣でした。

No.3 波止野の研究室／共同研究・波止野玖依の記録

ファイルNo.X:【ブローケン・レコード】は完成に近づいている。しかし鹿島は娘の死でかなり憔悴していた。よって計画を修正することに。生前の娘を再現できると鹿島をそそのかし、彼に錬造器官と【ブローケン・レコード】を組み合わせた自律型錬造兵器のプロトタイプを作らせることにした。愚かな男だが、その知能は稀有な才能なのだから利用しなければならない。

もしも私に彼ほどの才能があればと思わないことはないが、ないものをねだっても仕方がない。これが完成すれば私は稀代の天才として知られることになるだろう。

ファイルNo.XX:自律型錬造兵器のプロトタイプ、鹿島は「リセ」と名付けていたが、愚かな彼にはアレが本当の娘にでも見えているらしい。そろそろ頃合いだ。ひそかに自律型錬造兵器に付けた機能で私の命令だけを聞く人形に変え、鹿島を殺害する。近々彼の自宅から私の痕跡は消しておこう。万が一にも私の関与が疑われたら厄介だ。後は兵器を回収すれば私の念願が叶う。

だが、殺害後はしばらく泳がせた方が安全かもしれないな、どうやらH.E.A.の局員が色々嗅ぎまわっているようだ。今のうちに【ブローケン・レコード】が発するエリクサーの波長を追跡する準備をしておこう。多少時間はかかるが確実に居場所を知るにはこれが最適だ。

【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】

リセは【ブローケン・レコード】の機能で動いている。

○【ブローケン・レコード】

「神秘」の属性を最後にブレイクすることで、リセを破壊せずに戦場から離脱させることが可能である。

No.4 突然の交通事故／リセ

助け出された少女はあきらかに普通の人間ではありません。人間の姿を模しているものの、破れた服の下にある四肢は錬造器官でした。先程感じたエリクサーは少女から漏れていたものであり、この子が錬金術師またはそれに関連するものであることは明確です。

そして少女の姿はとある人物——亡くなったはずの鹿島芹に酷似しています。

君たちが何かを訊ねようとする「思い出の場所に戻らなきゃ」と呟き、路地裏で起きたのとよく似た現象が再び起きます。

リセ「パパ、わたしおかしいの。わたしは芹なのに、芹じゃないってわたしはおもうの」

誰かに語りかける、そんな経験したことのない記憶のフラッシュバックが起き、君たちが気が付くと少女リセはすでにいなくなっています。

【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】

知らない記憶の中では生前の鹿島康嗣とリセが会話する姿が、詳細に脳裏に映ります。

リセ「パパ、わたしおかしいの。わたしは芹なのに、芹じゃないってわたしはおもうの」

鹿島「……リセ、パパは芹になってほしいと思ってリセを作った。けどリセは芹にはならなかった。だから、リセは芹になれなくてもいいと思う」

リセ「わからないよパパ。わたしは芹なのに……芹なのに……」

鹿島「いいかいリセ、君を動かしている器具はもう少しで機能を停止するだろう。だからその前に、芹の思い出の場所に行ってくれ。そこにもし芹の妹／弟が現れたなら、あの遊園地の光景を見せてあげてほしい。それだけが私の本当の願いなんだリセ……」

リセ「いや！ なんでわたしが……なんでわたしがパパを殺して……こんなことしたくないのに……！」

鹿島康嗣がリセに言葉を伝えている時、少女の腕は鹿島の胸を貫いていました。鹿島康嗣を殺害したのはこの少女です。自身を殺したリセを見つめながら、鹿島康嗣は泣きそうな顔で最期の頼みを伝え、そのまま息を引き取ります。

Lv.
2

シチュエーション 1 無人兵器攻撃

シチュエーション解決方法

任意の属性に累積で「20」点以上の DM を与える。

アクション

効果

一斉掃射

すべての PC のすべての属性に 10DM を与える。

波止野玖依が生成した兵器。あちこちに機銃が設置され、PC の動きに合わせて発射される。
波止野が操るガジェットを破壊することで止まる。

Lv. 1	シチュエーション 0 無人兵器特攻	シチュエーション解決方法	
		「身体」と「意思」にそれぞれ「15」点以上の DM を累積で与える。	
アクション	効果		
連鎖自爆	すべての PC の最大値が一番高い属性に「20」DM を与える。		
波止野玖依が生成した自爆するドローンを生成するポット。ポットそのものを破壊しなければ爆撃を続けるだろう。			

Lv. 2	リセ	身体	意思	神秘
		30	20	40
アクション	効果			
戦闘行動	ランダムに選んだ PC の、ランダムに選んだ属性へ「4D ▶ 4D」の DM を与える。			
◎【戦闘駆動】		◎【ブロークン・レコード】		
「身体」がブレイクされていない場合、自身のロールダイスとピック ??????????????????????。ダイスを+ 2D する。				
波止野玖依による改造によって、戦闘兵器にされた錬造器官と【ブロークン・レコード】で造られた人形の少女。				

Lv. 4	波止野 玖依	身体	意思	神秘
		35	35	40
No	コスト	錬金術	効果	
①	4	崩壊式：波	任意の PC のすべての属性に「5D ▶ 3D」DM を与える。(アタック)	
②				
③	5	加速式：乗	自身のこの錬金術以外のすべてのストックを+ 1 する。(サポート/自身/開始時)	
④	4	補助式：正	自身が行う錬金術の「2」以下のロールダイスをすべて「3」にする。(サポート/自身/ロール後)	
⑤	5	補助式：負	自身に行われる攻撃のロールダイスから「3、4、5」の目目をすべて取り除く。(サポート/自身/ロール後)	
⑥	8	収束解法式：玖	①の術のロールダイスとピックダイスを以降+ 3D し続ける。この効果は 3 回まで累積する。(サポート/自身/開始時)	
◎【Logic:Expansion】		◎【Logic:Error】		
自身のいずれかの属性がブレイクされた時、⑥の錬金術のストックを+ 4 する。		自身の属性が2つブレイクされている場合、⑥の錬金術は発動できなくなる。(すでに累積している効果はなくなる)		
リセに改造を施し、鹿島康嗣を殺害させた錬金術師。本来戦闘行為に秀でた錬金術師ではないが、寿命を削るほどのエリクサーを用いて無理矢理戦闘を行っている。己の名前を天才として歴史に刻む為ならば、何であろうと使う。				